

3市1町で協働コーディネーター養成講座受講

都城広域定住自立圏構想の取り組みの1つとして、地域を構成する都城市・三股町・志布志市・曾於市の3市1町合同で協働コーディネーター養成講座が11月5日に午前は都城中央公民館、午後は、末吉総合センターで行われました。

今回の研修は圏域マネジメント能力向上のためのもので、講師にIIHOE（人と組織と地球のための国際研究所）の川北秀人さんをお招きし、3市1町の職員をはじめ、NPOや校区公民館関係者の方々等約180名が受講しました。

末吉総合センターで行われた講座では曾於市・志布志市の協働の成果、課題、今年度以降の予定等を各市担当者が発表。その後、川北さんの「自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するためにー協働の基礎を再確認するー」と題して、“協働が始まらない・進まない” “な

ぜ協働が必要なのかわからない”等の疑問について、大変分かり易くご説明いただき、10年後20年後の日本、そして、この広域圏の将来を見据えた“協働”のまちづくりの必要性・緊急性を数値的なデータや事例等を用いて様々な角度からご教示くださいました。

受講後、参加した職員や校区公民館関係者のアンケートでは、次のような意見がありました。

- 自分自身の心に響く内容でした。子供のために誇りをもてる郷土を自分達の力で作っていききたいと思いました。
- 市民・行政お互いの得意分野を持ち寄り、よりよいまちづくりに取り組みたいと思います。
- 話の内容が良かっただけに、もっと多くの方が参加できればよかった。

★曾於市年齢別3区分別人口の推移

	1990年 (平成2年)	2000年 (平成12年)	2010年 (平成22年)	2020年 (平成32年)	2030年 (平成42年)
0～14歳	8,895	6,534	4,282	2,999	2,388
15～64歳 (生産人口)	29,465	25,512	21,635	17,011	13,319
65歳以上	9,132	12,863	13,539	13,752	12,642
総数	47,492	44,910	39,457	33,762	28,349

※資料：鹿児島県の推移人口 新市（3町）に組み替えられています。

平成2年・平成12年

※資料：国立社会保障・人口問題研究所 平成22年以降

★曾於市高齢者率

1990年	19.2%
2010年(現在)	34.3%
2020年	40.7%
2030年	44.5%

★曾於市の15～64歳(生産人口)で65歳以上1人を支える割合

1990年	3.2人
2010年(現在)	1.5人
2020年	1.2人
2030年	1.0人



曾於市の協働の現状を発表



末吉総合センターでは85名が受講